

令和4年度全国学力・学習状況調査 結果分析・活用について

学校名	大磯町立大磯中学校
-----	-----------

1 調査結果の分析で明らかになったこと

	習得の状況が良好であると判断できるもの	指導の改善・充実が求められるもの
国語	「読むこと」に関しては全国と比べても数値が高く、良好であると判断できる。	「書くこと」に関しては数値が低かったため、自分の考えをしっかりと表現できるよう今後の指導につなげていきたい。
数学	数と式の領域では全国平均と比べて10%以上高い正答率だったので、基本的な計算の力が良好であると考えられる。	図形の領域が全国平均と比べて正答率が低い。空間認識力が低いと考えられるので、今後指導していきたい。
理科	質問紙と鑑みても、「実験から得られたデータから考察を行う」という能力については生徒が意識して獲得できているものと思われる。	専門的な細かい知識を用いるような問題に関しては全国平均よりも低い値を示しているため、知識の定着と応用ができるように指導したい。

質問紙	<ul style="list-style-type: none"> 「1・2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」などのICT機器利用に関する項目の肯定的回答は全国平均を大きく上回っている。 「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」や生活面での、「人が困っているときは、進んで助けていますか」「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」の回答が全国平均を下回っている。特に、生活面の項目は毎年全国平均を下回っている。
-----	---

2 学校運営及び授業の充実に向けた取り組み

<ul style="list-style-type: none"> 学習面では基礎的・基本的な知識・技能を習得、活用・発展できる力を身につけるために、引き続き全教科において個々の生徒の状況を把握し、課題解決学習の推進と言語活動の充実を図る。 書いた文章をクラスメイト同士で推敲し合ったり、作品中の表現の特徴について話し合ったりするなど協働的な学習の機会をできる限り多く授業に取り入れる。 生活面では、家庭との更なる連携を図り、個々の生徒の状況把握と情報共有を基盤としたチーム支援体制を構築、実践することで、仲間を思いやる気持ちなど心情面の育成に努める。
--

3 家庭（地域）へのお知らせ ※取り組んでいただきたい内容や知っておいてほしい内容等

<ul style="list-style-type: none"> 各種たより、メール配信システム、ホームページ等を活用して保護者・地域の皆様へ情報を発信します。 学習面・生活面について、ご家庭でのご支援ご協力を引き続きよろしくお願いいたします。 家庭で読書ができる環境や図書館に行く時間をつくるなど、日常的に書字文化に触れる機会をつくることのできるようにご支援ください。 ご家庭とのより密接な連携のもと、より良い学習習慣及び生活習慣の定着に向けて、タブレットの利活用や大磯町で導入したeライブラリーアドバンスの活用等を図るよう努めます。
--